



障害者支援施設
就労継続支援B型事業所
相談支援事業所
外部サービス利用型
共同生活援助事業所

新葉学園
しんよう
第1拓洋ホーム

発行者 社会福祉法人 拓洋会

薩摩川内市樋脇町塔之原 4020

TEL: 0996-37-2861 FAX: 0996-37-2981

<http://takuyoukai.w.kobira.co.jp/>



反骨の歴史と寛容の将来

B型事業所 業務課長

下川明彦

大河ドラマ「西郷どん」の影響もあり鹿児島幕末史が脚光を浴びている。鹿児島は有史以来少なくとも三回中央政府に対し抵抗(中央から見れば反逆)を試みている。①奈良時代の隼人の反乱、②安土桃山時代の豊臣秀吉による島津討伐、③明治初期の西南戦争である。結果的にみればいずれもその主張は通らず、多大な血の代償を払わされた。①については征隼人大將軍大伴旅人が川内川を遡り樋脇町倉野に軍勢を上陸させた事、②については川内泰平寺にて島津義久が秀吉の軍門に下った事、③については旧樋脇郷士二百六十九名が従軍し招魂碑が旧学園近くの玉淵寺跡にある事等があり、鹿児島島の反骨が川内・樋脇の我々の祖先にも影響を及ぼしていた事になる。社会保障費の財政難、旧優生保護法、働き方改革等、福祉に関する事柄について、中央から遠く離れた地方でも、時の政治情勢に翻弄される事情は今も昔も変わらない。

日本の人口年齢構成グラフは戦中戦後のピラミッド型から経済成長期の少子型、そして現代は西洋式棺桶型となり、若年層の人口減少、特に地方での労働生産人口の縮小は、地域経済の疲弊が深刻であることを示唆している。福祉の現場においても人材不足は深刻で事業継続が危ぶまれる事業所も多いと聞く。岡山県の自治体では外国人労働者を地域住民として招くべくベトナムまで担当者が出向しているが、日本政府の受け入れ条件が高すぎる為(移民を受け入れない、職業実習生としての就業年限が短すぎる、日本語習得を義務付ける等、思うに任せないとのこと)。

国粋主義も悪くはないが、外国人を地域に招いてまで地域の消滅を回避しようとする事態まで至っているのである。

出生率を高め、子供を育む環境改善を図る政策は重要だが、それ以上に、鹿児島県の様な中央都市部への労働人口供給地域に、人を呼び戻すUターンIターン促進事業に力を入れ、人口の偏在を是正する取り組みが急務ではなかるうか。奈良時代薩摩国設置時に隣国肥後から北薩地域へ、江戸時代に南薩から市比野新田へと開拓農民を移住させた歴史もある。

中央政府の施策に追従するだけでなく、その地域に合った活性化策を用い、県外からの移住者や外国人の受け入れ、異なる文化や信条の理解等、地域共生社会の実現の為に、多様なものを受け入れる「寛容の将来」を期待したい。

知的障害者関係施設親善球技大会

利用者 富吉 和明さん

四月二十八日(土) 桜島

溶岩グラウンドと補助体育館でティーボール、グラウンドゴルフ、ソフトバレーの施設親善球技大会が行われました。

試合では練習の成果がどの程度出せるか心配もありましたが、応援席からは熱い声援、本人達のやる気で、ティーボール一勝一敗、グラウンドゴルフ優勝、ソフトバレーボール準優勝と見

事な結果を残す事ができました。

プレッシャーの中、練習を共にした仲間たちと励まし合いながら臨み、とても良い経験になったと思います。来年も素晴らしい成績を残せるよう、皆で頑張りたいと思います。

本大会に大会スタッフの方々に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。



▲優勝・2位・3位独占！おめでとう！



▲慎重に



▲間に合うか？



▲飛んでけー！



▲試合前・・・ドキドキ

看護職兼生活支援員 中島 博美

四月二十八日、桜島溶岩グラウンドと補助体育館にて、知的障害者関係施設親善球技大会が行われました。当学園からはティーボール一チーム、ソフトバレーボール一チーム、グラウンドゴルフ四チームの総勢四十四名が出場しました。

利用者 長野 五月さん

施設親善球技大会が桜島溶岩グラウンド補助体育館で行われました。私もバレーの選手で参加しました。練習は四回くらいしかできませんでしたが、勝ちたいと思い、ご飯を沢山食べました。体力をつける為です。

試合の朝はドキドキして早く目が覚めてしまいました。でも体育館に到着すると、いつの間にか緊張も無くなっていました。因みにバレーボールのキャプテンは私で、皆に声を掛け準備運動を行った後、試合開始でした。最後まで残り、準決勝までいきました。が惜しくも二位という結果でトクフィーは持ち帰る事ができました。

無事に怪我無く笑顔で終える事が出来、思い出に残る一日となったのではないだろうか。グラウンドゴルフは九州大会でも全力を尽くしプレーして来て欲しいと思います。



▲やったね！準優勝！

第12回 鹿児島県障害者 スポーツ大会

5/20



生活支援員 乙須 恒平



▲遠くまでいけ(°Д°)ノ〜◎

去る五月二十日(日)県立鴨池陸上競技場補助グラウンド(陸上競技)、県立サッカー・ラグビー場(フライングディスク)の二会場にて第十二回鹿児島県障害者スポーツ大会が開催され、新葉学園からは七名の利用者さんが北薩地区代表として大会に出場されました。鴨池陸上競技場は桜島の噴火による降灰もありコンディションは決して良くはない中での競技となりましたが、降灰の影響も全く感じさせない力走や跳躍で金メダル二個、銀メダル一個、銅メダル一個を獲得されました。フライングディスク競技が行われた県立サッカー・ラグビー場では、幼児から高校生のサッカー大会が行われており駐車場は空きがなく、なんとかスペースを見つけ無事開始時間に間に

合わせる事が出来ました。そのようなアシデントがあつたにも関わらず、競技前に練習をする事で気持ち落ち着かせている姿にとっても感心しました。その甲斐もあり、銀メダル一個、銅メダル一個を見事獲得され、残念ながらメダルには届かなかった方についても来年に繋がる投てきが出来ていたのではないのでしょうか。

今回参加人数が少なかつたにも関わらずこれだけの好成績を残せた事は、日頃から昼休み時も熱心に練習をされていた利用者さんの努力の賜物だと思えます。また来年に向け、利用者さんの日々の努力が実るよう我々支援員も最大限のサポートが出来ればと考えております。



▲皆さん、お疲れ様でした



▲記録は…(・0・)



▲少し緊張が見られるかな!?



▲大健闘!!

利用者 豎山 弘樹さん

五月二十日(日)に鹿児島県障害者スポーツ大会が鴨池競技場で行われ、僕は百メートル走と玉入れに出ました。百メートル走は三年連続で二位に入り銀メダルをもらいました。玉入れはダントツの一位でした。これからもいい成績を残せるように頑張ります。

利用者 敷根 和子さん

私は百メートル走で一位でした。でも目標のタイムにはとどかなかつたので、くやしかったです。私はもつとれんしゅうをして、がんばりたいと思います。玉入れは白組が一位でした。私は白組が一位だったので、うれしかったです。

利用者 濱田 ひとみさん

五月二十日に鹿児島県障害者スポーツ大会で鹿児島県の中山町にあるサッカー・ラグビー場に行つて、正岡さんと久米さんと菊池さんとフライングディスク・ディスクダンス競技に出場しました。正岡さんと久米さんはメダルをもらえただけ、菊池さんと私はメダルをもらえませんでした。来年はディスクダンスとアキュラシーにも出場し、メダルをもらえるように練習をたくさんして全国大会にも行きたいです。



▲豎山さん、2位入賞
★おめでとう★



▲練習にも熱が入ります

生活介護レクリエーション
つけあげ工場見学
(日高水産加工)

5/1



▲いただきまーす♪

利用者 成枝 悦子さん

五月一日(水)に、マイクロバスに乗ってつけあげ工場見学に行きました。

工場についてから女子と男子とならんで工場の中まで行き、工場の人から話がありました。

私は、つけあげを作る人たちがたくさん汗をかいていて大変だと思いました。

最後に工場の人たちが作ったつけあげを食べました。とても美味しかったです。



▲おいしそう～(^▽^)



▲皆さん目が真剣です



▲せごどんと一緒に記念撮影☆



生活支援員 角 直子

去る五月一日、生活介護のレクリエーションが実施され、いちき串木野市にある日高水産加工有限会社へ皆で工場見学に出掛けました。

工場内では職員の方に案内して頂きながら、男女に分かれ順を追って見学しました。

幾種類ものつけあげが休みなく作られていく様子を、順路に沿って見学しながら分かりやすく説明して頂き、目の前で引っぱり無しにつけあげが出来ていく様子に皆さん圧倒されていました。

見学後には試食やお土産をいただき、「美味しいね～」とあちらこちらで会話する姿が見られました。工場見学の後は長崎鼻公園に移動し、持参したお弁当を皆で食べた後、羽島経由で海沿いの道をドライブしながら帰路につきました。お土産のつけあげは夕食時に提供していただき、見学した時の様子に思いを馳せ、中で汗を掻きながら製造されていた方々の事を思い出しつつ、感謝の気持ちで食べている姿が印象的でした。今後利用者への希望を取り入れつつ、様々な経験が出来るようなレクリエーションを計画できればと思います。

6/13

総合防災訓練

利用者 田島 知歩さん

生活支援員 兼子 剛

六月十三日に総合防災訓練がありました。仕事中に火災の訓練放送が流れ、みんな避難しました。消防署の方々から、火災が起きた時の対処方法や、けむりが流れてきたらタオルなどで口を覆うなどの事を学びました。その後にはけむり体験をしました。けむりの中は真っ白で見えなくて怖かったです。実際に火災が起きてしまったらもつとけむりがひどくなると、あわててしまいかもしれないと思いました。

去る六月十三日(水)午後より総合防災訓練が園内に行われました。

喫煙所から火災発生という設定で、実際に放水作業や避難の訓練を行いました。皆さん真剣な表情で避難され消防署の方からも褒めの言葉を頂きました。これも利用者の皆さんが常日頃から、防災に対して高い意識を持っているからだと思えます。今回は、煙体験ハウスにて疑似体験をする事が出来、火災現場での恐ろしさなどを感じる事も出来ました。

この訓練で学んだことを火災が近くで起きてしまった時に実践できるようにします。とても勉強になり、良い防災訓練でした。

火災を起こさない事が一番なのですが、もしそのような場合に遭遇した際には、日ごろの訓練を思い出し冷静に対応出来る様心掛けて行きたいと思えます。



▲総合防災訓練



▲放水開始!!

▼いざ!煙の中へ

▼ドキドキ☆けむり体験

▼腰を低くして落ち着いて～



薩摩川内市 ふれあい障害者福祉大会

7/19

世話人 徳田 みどり

利用者 芝 久美子さん

薩摩川内市ふれあい障害者福祉大会に参加し、私は「おうえんか」をおどりました。ちよつとまちがえたけど、さいごまでがんばっておどりました。お昼から「たまいれ」と「つなひき」に出ました。友達にあつて話ができてうれしかったです。

利用者 千竈 等さん

踊りをきちゃんと踊る事ができて良かったです。また、レクリエーション行事も楽しく参加出来て良かったです。また、来年も頑張りたいです。



▲玉入れ、頑張るぞ～(∩∩)／



▲文化行事では心踊倶楽部が「よさこい」を披露しました。

去る七月十九日サンアリーナ川内にて、薩摩川内市ふれあい障害者福祉大会が開催されました。午前中に行われた文化行事では、利用者二十二名と職員六名によるよさこい（桜援歌・祝いMEDLEY）を披露しました。本番前、華やかなヘアメイクをほどこし、何時にもない緊張感と期待感がひしひしと伝わってきましたが、本番ではこれまで積み重ねてきた練習に裏付けされた自信が満ち溢れ、堂々とした踊りを見せて下さり、見学者から感動の声やたくさんの拍手を頂戴しました。踊られた皆さんにも笑顔があふれ、これからの励みになるといいたく思います。

午後からはレクリエーション行事が行われ「パン食い競争」



▲表彰おめでとうございます!(^^)!

自立に向けた日常生活や社会生活を営めるよう、長期にわたり外部就労に従事する等、自立更生に向けて努力されてきました。その功績が他の模範とするものであるとして、今回の福祉大会で吉村昭一さんが表彰されました。

吉村昭一さん表彰



▲午後からのレクリエーションも楽しめました!

「玉入れ」「綱引き」「じゃんけん大会」を皆さん一喜一憂しながら楽しまれました。大会を通して他施設の利用者さんとの親睦、交流を図る事ができ有意義な一日を過ごす事ができました。

心踊倶楽部だより

「心踊倶楽部」が発足し、早や一年が経とうとしています。

今年度に入り入来町にあります「おじやったモール」で行われたイベントや福祉大会で踊りを披露し、たくさんの拍手を頂く事が出来ました。今回新たにチームの大旗とTシャツを作成し、皆さん週一回の練習を楽しみに一生懸命汗を流していらっしゃいます。これからの皆さんの心が踊るような演技が披露できるようにメンバー一丸となって頑張りたいと思いますので、応援の程よろしくお願い致します。

【出演予定】

- ・ 9/17 (月) Boon Boon フェスタ (鹿児島市民文化ホールにて)
- ・ 10/27 (土) しんよう秋祭り (新葉学園にて)

【出演依頼時、連絡先】

鹿児島県薩摩川内市樋脇町塔之原 4020 新葉学園
心踊倶楽部 担当：玉利・田原
TEL：0996-37-2861
FAX：0996-37-2981



思い出アルバム

写真は楽しい活動の一部です



▲岡野旗ソフトボール大会♪見事優勝♪



▲串木野養護学校の実習生7名



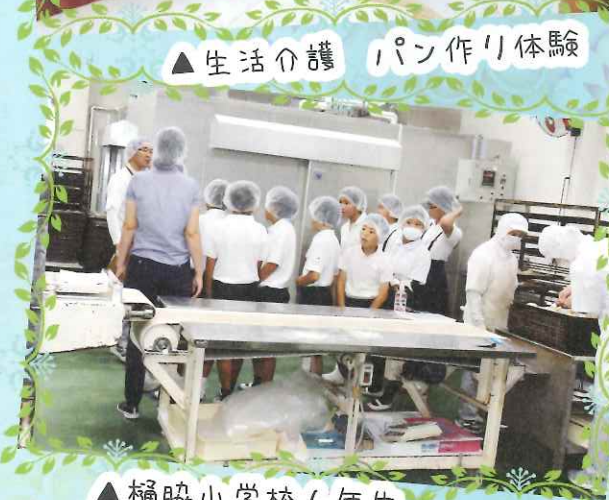
▲今日も心踊倶楽部は青空の下で練習中です!



▲生活介護 パン作り体験



▲第1回家族会



▲樋脇小学校6年生
パン工場見学に来られました♪



▲心踊倶楽部『YOSAKOI チームTシャツ』♪♪



▲美味しそうなパンがズラリ! (パンバイキング)

社会福祉法人拓洋会 平成 29 年度決算報告書

貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

勘定科目	法人全体	勘定科目	法人全体	
資産の部		負債の部		
流動資産	181,147,902	流動負債	58,237,662	
固定資産	基本財産	750,177,060	固定負債	202,977,342
	その他の固定資産	280,025,703	負債の部合計	261,215,004
資産の部合計	1,211,350,665	純資産の部		
		基本金	225,633,000	
		国庫補助金等特別積立金	334,561,435	
		その他の積立金	155,100,000	
		次期繰越活動増減差額	234,841,226	
		純資産の部合計	950,135,661	
		負債及び純資産の部合計	1,211,350,665	

事業活動計算書

(自) 平成 29 年 4 月 1 日 (至) 平成 30 年 3 月 31 日 (単位：円)

勘定科目	法人全体
サービス活動収益計①	368,579,623
サービス活動費用計②	348,751,091
サービス活動増減差額③ = ① - ②	19,828,532
サービス活動外収益計④	11,582,620
サービス活動外費用計⑤	4,636,042
サービス活動外増減差額⑥ = ④ - ⑤	6,946,578
経常増減差額⑦ = ③ + ⑥	26,775,110
特別収益計⑧	2,498,850
特別費用計⑨	2,498,856
特別増減差額⑩ = ⑧ - ⑨	- 6
当期活動増減差額⑪ = ⑦ + ⑩	26,775,104
前期繰越活動増減差額⑫	246,666,122
当期末繰越活動増減差額⑬ = ⑪ + ⑫	273,441,226
基本金取崩額⑭	0
その他の積立金取崩額⑮	0
その他の積立金積立額⑯	38,600,000
次期繰越活動増減差額⑰ = ⑬ + ⑭ + ⑮ - ⑯	234,841,226

資金収支計算書

(自) 平成 29 年 4 月 1 日 (至) 平成 30 年 3 月 31 日 (単位：円)

勘定科目	法人全体
事業活動収入計①	380,162,243
事業活動支出計②	323,729,870
事業活動資金収支差額③ = ① - ②	56,432,373
施設整備等収入計④	0
施設整備等支出計⑤	14,331,400
施設整備等資金収支差額⑥ = ④ - ⑤	- 14,331,400
その他の活動収入計⑦	2,059,427
その他の活動支出計⑧	41,126,375
その他の活動資金収支差額⑨ = ⑦ - ⑧	- 39,066,948
当期資金収支差額合計⑩ = ③ + ⑥ + ⑨	3,034,025
前期末支払資金残高⑪	140,208,106
当期末支払資金残高⑫ = ⑩ + ⑪	143,242,131

平成三十年度施設内研修

第一回

平成三十年五月十一日(金)
テーマ『腸とこころを整えて人生を豊かに生きる』

講師

医療法人 岩崎胃腸科
岩崎 秀一様

第二回

平成三十年七月二十日(金)
テーマ『パン工場見学及び製造体験』

講師

パン工場職員

県中小企業団体表彰

支援員 鶴崎 祥一

今回、鹿児島県パン工業協同組合の推薦により鹿児島県中小企業団体中央会会長より永年勤続表彰を受けました。これも先輩方の御指導や利用者の方々と共に支え合い頑張る事が出来たおかげだと思っております。この場をお借りして感謝申し上げます。今後も安心安全で美味しいパンを皆様へ提供出来る様に精進してまいります。



平成三十年度 知的障害児(者)関係施設新任職員研修会

生活支援員 山口 友洋

去る六月十九日から二十日の二日間にかけて知的障害児(者)関係施設新任職員研修会に参加致しました。鹿児島県知的障害者福祉協会会長の水流純大氏の挨拶をはじめ、各講師の先生による講義がありました。知的障害・自閉症の状態は千差万別で、障害のあらわれかたも人それぞれだと言う事、その中で利用者との向き合い方、利用者との関わり方での利用者に見合った支援を見出していかなければならなく、支援の仕方にマニュアルはないという事を実感しました。

また障害を抱える家族の苦勞や思いを知り、福祉施設・福祉サービスがどれだけ家族に必要とされているのかという事を強く感じました。そして家族が施設に望む事、支援者に望む事も多く、その要望を一つでも多く成し遂げる事で利用者やその家族に信用・信頼されるのだと思いました。

その他にも他施設の方々とのグループワークを通じてお互いの施設の取り組み方や支援の仕方など施設ごとでさまざまである事を知る事ができ良い機会となりました。この研修で学んだことを少しでも現場で活かせるようにこれから取り組んでいきたいと思っております。

新職員紹介



世話人 榎園 典子

世話人としてお世話になります榎園典子です。どうぞよろしくお願ひします。初めての職種なので何も分かりませんが御指導ください。

編集後記

本格的な夏が到来し、例年はない猛暑が続いています。(汗)
報道でも連日『命に関わる危険な暑さ』『熱中症』というワードを見聞きます。

異常気象という言葉聞き飽きる程近年では耳にしますが、年々変化していく環境に都度しっかりと対策を講じ、順応していくしかないのかなと感じます。学園でも引き続き、熱中症対策に万全を期し利用者さんの健康管理に努めてまいります。

さて来ようだより「季刊夏号」が出来上がりました。当学園の取り組みや行事等満載の内容となっております。これからも充実した内容をお届けできるように取り組んでまいります。

(乙須)

◆今後のスケジュールのお知らせ◆

- 9月13日 北薩地区ふれあいスポーツ大会 (薩摩川内市総合運動公園 陸上競技場にて)
- 9月17日 Boon Boon Festa (施設文化祭) (鹿児島市民文化ホール 第1ホールにて)
- 10月27日 しんよう秋祭り (新葉学園にて)
- 11月 スポーツレクリエーション大会 (樋脇グラウンドゴルフ場にて)
- 12月15日 第2回家族会/クリスマス会 (新葉学園にて)

〔平成三十年度 広報委員会〕

利用者 福山 雄亮さん
職員 陳内 唯さん

乙須 恒平
小川 淳
池田 俊彦
山口 友洋
角 直子
田原 加奈
三輪 優子

